



経団連会館4階スカイガーデン(デッキ部分にWPRCを採用)

うとするイスラム系カナダ人がいた。また卒業後母国に戻って兵役に行くことを当然としているイスラエル人もいるし、一家を背負って留学してきて、必死に勉強しているジンバブエ人もいた。一家や一国を背負って出てきた人の信念は桁違いに強く、人は自分以外の人のために何かを成し遂げようと思ったときにこそ、本人の意思を超えたパワーが湧いてくる

ものだと痛感した。

ほのほのと家族に見送られて留学してきた当時の私には、周りの人たちのように必死に守るべきものや成し遂げるべきことはなかった。しかし当時私が行ったこともないようなラテンアメリカの国の友人たちが、私を見ると「トヨタ、ミツビシ、ホンダ……」と茶化してきたように、外国人にとって私↓日本↓車や電化製品、つまり科学技術なのだということを感じた(一〇年前だったということと、たまたま車好きの友達が多かったこともあるのかもしれないが)。原点に立ち返り考えれば、わが母国日本は技術大国であり、日本人として先端科学技術を身に付け、世界共通して起こっている環境問題に取り組んでいくことこそ自分の使命の一つなのではないかと思えた。

信念を形にしていく

UWC卒業後、大学・大学院と農学部で森林の二酸化炭素固定量の推定方法や熱帯地域に植樹した苗木の水分生理について学んだ後、現在は日本の住宅メーカーの研究所で二つのテーマのもとに研究

を行っている。一つ目は微気候デザイン(自然の力を使った快適で省エネな住環境設計)のための樹木の蒸発散能力評価に関する研究、二つ目は住宅解体材や間伐材などの廃木と、工場廃材や農業資材などの廃プラスチックを混ぜ合わせて作る木材・プラスチック再生複合材(以下、WPRC)の開発である。WPRCをエクスティア材として使うことにより、日本国内の二酸化炭素排出量の抑制および循環型社会の形成に貢献できるほか、東南アジアからの熱帯樹木輸入量を抑え、間接的には熱帯雨林の保護にも役立っていると思う。

最近、UWC派遣において大変お世話になった日本経団連がビルを移転した際、新会館のスカイガーデンに偶然にもこのWPRCが採用されていることを知り、何とも言えない熱い思いが込み上げてきた。

多くの方々に支えられ、UWCで学ぶ貴重な機会に恵まれたことを心から感謝し、これからも日本および国際社会のために役立つ仕事を続けていきたいと思う。

私なりの社会貢献

ミサワホーム総合研究所環境・エネルギー研究室

毛塚由佳理

けつか ゆかり

一九九八〜二〇〇〇年、UWCピアンソン・カレッジ(カタダ)留学。筑波大学第二学群生物資源学類卒業、東京大学大学院農学生命科学研究科修士課程修了。二〇〇七年ミサワホーム入社、二〇〇八年ミサワホーム総合研究所出向、現在に至る。



問題を見つめ、問題に向かってみよう

私は中学生のころから、何か自然のためになること、環境問題にかかわることをしたいと漠然と思っていた。その思いはユナイテッド・ワールド・カレッジ(以下、UWC)での留学中さらに強い思いとなり、就職した今でもその信念は変わっていない。UWCという二年間のインターナショナルな教育のなかで、私は、自分の信念は世界共通であり、間違っていないという確固たる自信を得ることができ、またその信念を形にいくための方法を学んだのだと思う。

UWCでは問題解決型の授業が多く、単に事象について知るだけでなく、知ったからにはそれについてどう思うのか、また思ったことに対してどう行動したらいいのかということが問われ続けた。問題意識を持って世の中を見ると、解決しなければならぬ問題は、ジェンダー、貧困、人権、医療、環境、自然と果てしなくあり、また環境問題一つとっても森林破壊、生物多様性、地球温暖化、汚染

●(社)ユナイテッド・ワールド・カレッジ(UWC)日本協会は、世界各国から派遣されてくる生徒たちとの教育体験の共有により、国際感覚豊かな人材を養成するという理念を掲げるUWCの日本委員会として、毎年一〇名前後の高校二年生を世界各地にあるUWC傘下の高校に派遣し、すでに四三四名の卒業生を輩出している。

と問題は多岐にわたっていた。しかも通常なら自分とその周辺だけの「点」としてしか感じられない問題が、UWCにいると世界中あちこちで同じような問題を抱えていることに気づかされるため、問題の深刻さから目を背けることができなくなる。

UWC在学中、それまでとは比べ物にならないほど深く一つひとつの問題について考えるようになったけれど、そうなると同時に出てきてしまう思いは、すべてを解決することはできないという無力感である。そこで果たして私には何ができるのか、自分ならではの取り組みは何かということを考えるようになっていった。UWCには一六歳にして医者になることを決めたベネズエラ人や、カナダの政治家になって国際紛争を解決しよ